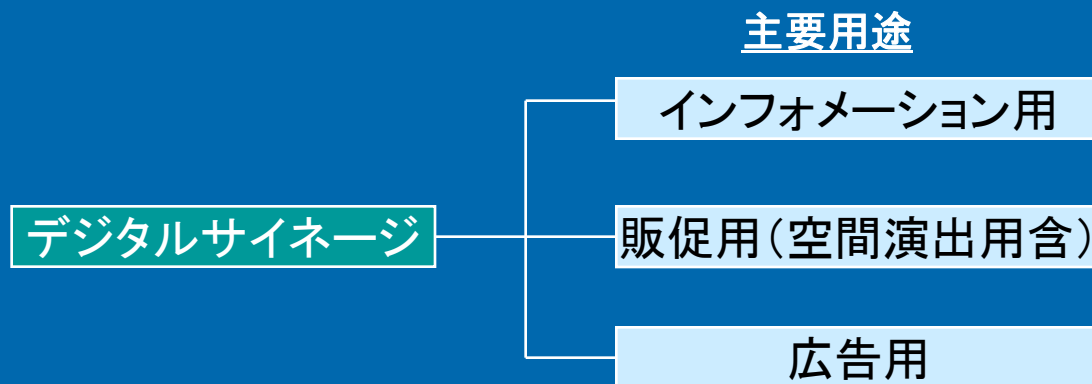


デジタル サイネージの国内市場動向 及び今後の展望

(株)富士キメラ総研

1. デジタルサイネージ市場の概況



■デジタルサイネージ：ディスプレイを活用した電子データによる各種映像/情報表示システム

■対象製品/システム：「映像/情報表示用ディスプレイ/メディアプレーヤー/映像/情報コンテンツ制作及び配信システム」

■国内市場

液晶/PDP等設置性に優れる薄型ディスプレイの大画面化/低価格化、及び通信インフラ/各種配信システムの開発・投入に伴いデジタルサイネージを目的とした導入が増加。

ディスプレイの新たな活用用途として市場拡大が期待される。

◆市場トレンド

- ・ディスプレイ（映像機器）の低価格化/コンテンツ制作・配信システムの増加等に伴い市場は前年比増加で推移（2009年は景気低迷の影響により前期の需要が減少していたが、年末に向けて徐々に増加傾向）。
- ・交通機関/店舗・商業施設等へのディスプレイ設置増に伴い。デジタルサイネージの認知度向上。
- ・景気回復に伴い、広告出稿量増加 ⇒ 映像広告目的の新規設置増加（鉄道/店舗・商業施設等）：従来のポスター/看板から映像機器を活用した広告表示へ（代替及び一部に映像機器を活用）。
- ・景気回復に伴い新規設置需要先が増加。インフォメーション/販促/広告用途ともに増加傾向。
- ・特に、2010年は鉄道/店舗・商業施設を中心とした映像広告（インスタメディア）の本格化。新たな媒体ビジネスとして注目。

2. デジタルサイネージの国内市場推移

単位：百万円

	2008年	2009年	2010年
ディスプレイ市場	39,000	39,000	42,000
メディアプレーヤー市場	1,100	1,150	1,400
コンテンツ制作/配信市場	5,160	6,210	7,500
広告市場	14,800	15,500	21,000
国内市場規模	60,060 (-)	61,860 (103.0)	71,900 (116.2)

	2008年	2009年	2010年
ディスプレイ市場	8,940	9,440	11,100
メディアプレーヤー市場	1,100	1,150	1,400
コンテンツ制作/配信市場	5,160	6,210	7,500
広告市場	6,300	8,200	12,000
国内市場規模	21,500 (-)	25,000 (116.3)	32,000 (128.0)

* ディスプレイ市場には設置工事費を含む

2009年国内サイネージ市場
約618.6億円

対象製品

- ・ ディスプレイ：液晶/PDPモニター、TV、プロジェクター、LED、電子ペーパー等

* 広義のサイネージ市場



2009年国内サイネージ市場
約250億円

(ネットワークシステム対象)

対象製品

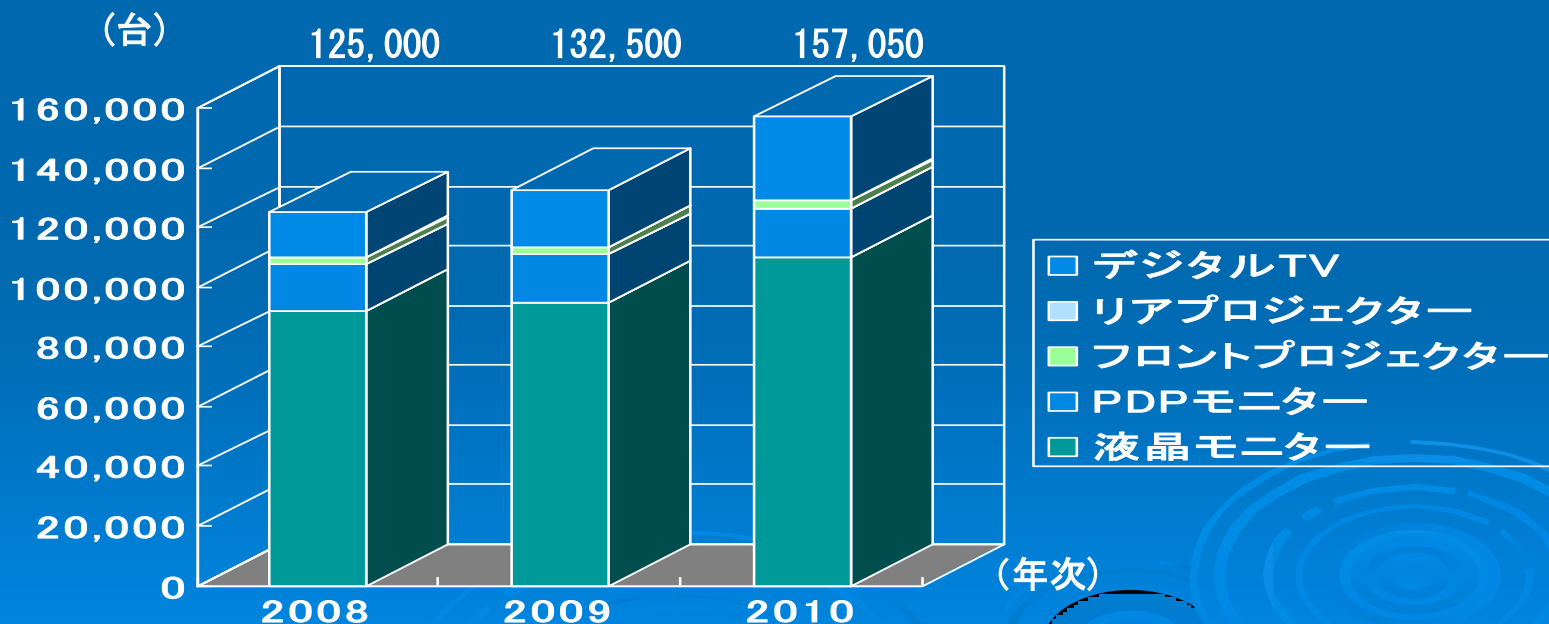
- ・ ディスプレイ：液晶/PDPモニター、TV、プロジェクター
(ビルボード等LED、電子ペーパー除く)

* メディアプレーヤー等を使った
配信対応システムを対象

3. 製品別市場推移

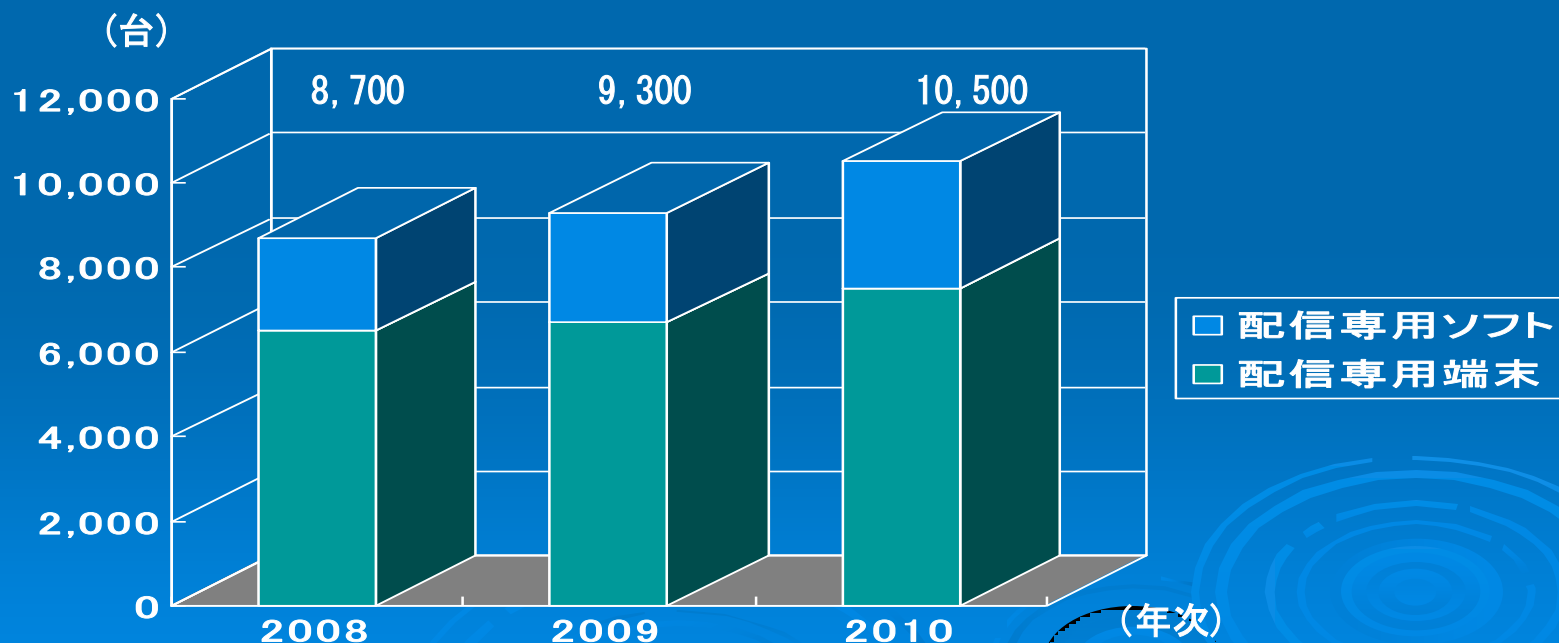
◆ディスプレイ市場

- ・ 業務用モニター（液晶モニター/PDPモニター）、業務用として利用されるデジタルTVを対象。
- ・ 2009年市場規模：約132,500台（内配信対応：約1万台）・ 260億円
 - * LEDディスプレイ/電子ペーパー及び設置工事費除く
- ・ サイネージ需要の増加に伴いディスプレイ数量は年々増加していくが、製品の低価格化に伴い金額ベースの伸びは鈍化。



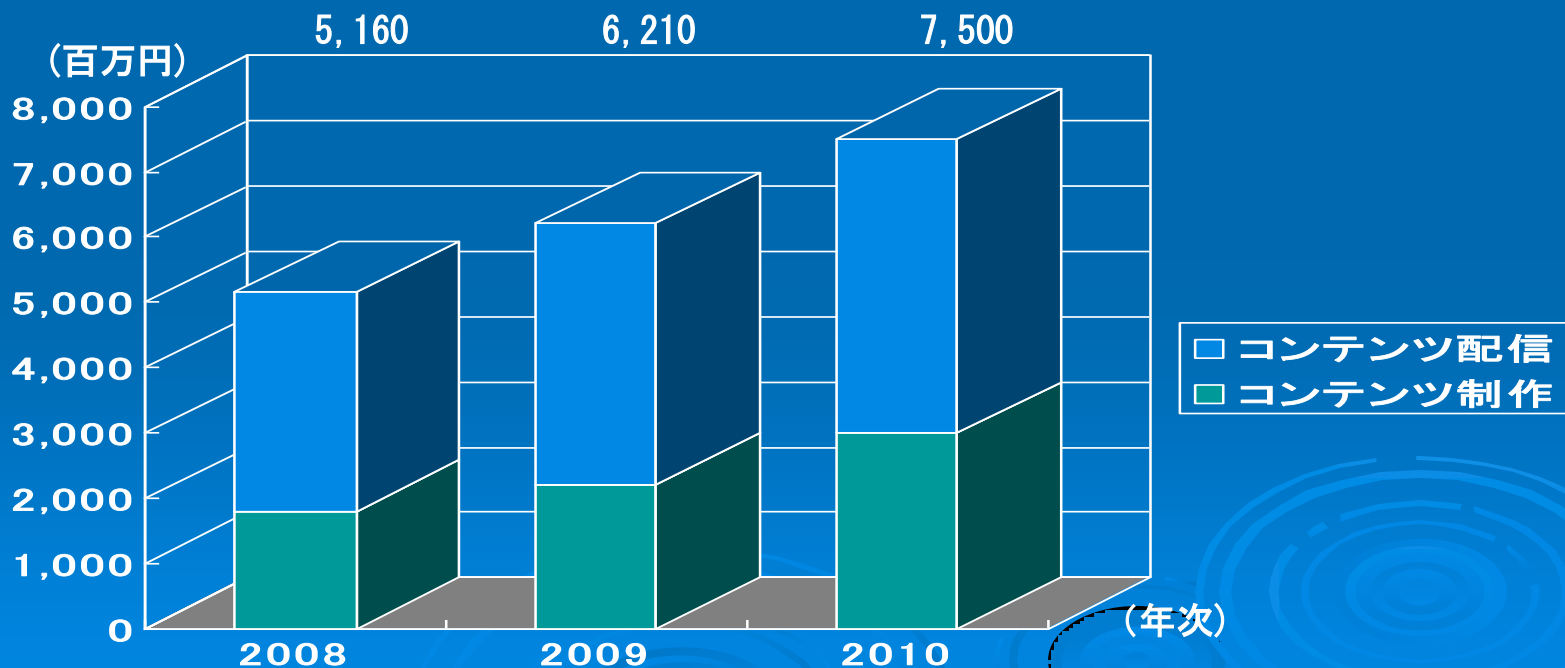
◆メディアプレーヤー市場

- ・メディアプレーヤー（専用端末/専用ソフト）を対象。
- ・2009年市場規模：9,300台
（専用端末：6,700台・専用ソフト：2,600ライセンス）
- ・金額ベース：2009年：11.5億円
（専用端末：9億円・専用ソフト：2.5億円）
- ・複数拠点に対する同一コンテンツの一括配信ニーズの増加により、年々新規導入ユーザーが増加傾向。



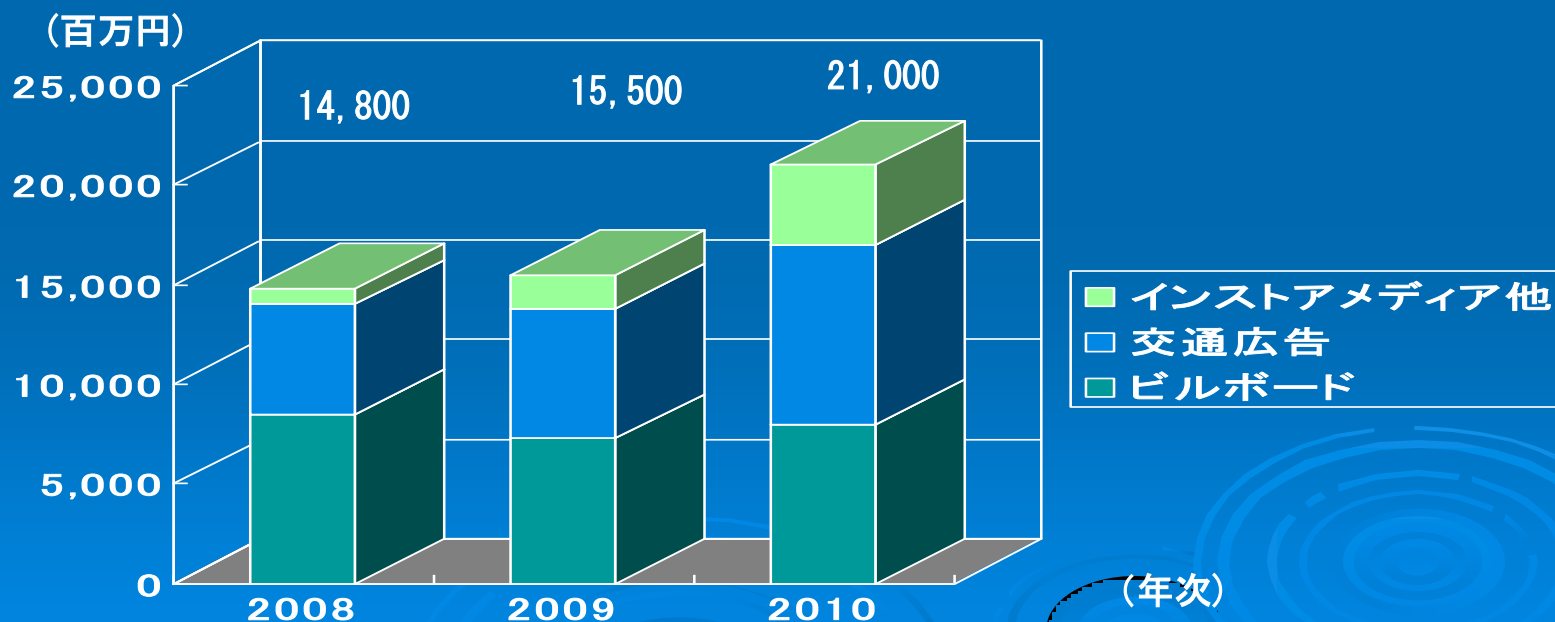
◆コンテンツ制作/配信市場

- ・ 2009年市場規模：約62.1億円(制作：22.1億円・配信：40億円)
- ・ 年々のユーザー数の増加(配信を受けるディスプレイ数の増加)に伴い、市場規模は拡大傾向にある。
- ・ コンテンツ制作については、既存のCM等の素材を活用する例が多く、1から新たなコンテンツを制作している例は現状少ない。
- ・ 2010年は、新規導入ユーザーの増加、ディスプレイ数の増加により、約75億円の市場規模が予測される。
- ・ 下記市場は、メディアプレーヤー/ソフトを活用した配信市場を対象としており、ビルボードや鉄道車両向けは含んでいない。



◆ 広告市場

- ・ 2009年市場規模：約155億円である（ビルボードを除く市場規模は約82億円である）。
- ・ デジタルサイネージは従来のポスター/看板からの代替、共存、といった形で新たなモデルが登場している。
- ・ 特に、鉄道関連（車両/駅構内等）への新規設置が増加しており、ディスプレイ数の増加により新たな広告として注目されている。
- ・ インストアメディアは、景気回復傾向の中で、2010年の新たな導入が期待される。



4. 需要先別市場動向

◆ディスプレイ数（LED/電子ペーパー除く）

単位：台

	2009年		2010年		主な用途
	総数	配信対応数	総数	配信対応数	
店舗/商業施設	39,000	2,000	49,000	3,500	広告/店舗案内/セール情報等
外食産業	2,500	300	3,000	500	メニュー/トレサビリティ/店舗情報等
交通機関	10,500	1,500	13,000	2,500	各種広告/運行情報等
金融機関	4,500	1,200	4,500	1,200	金利情報/商品紹介等
アミューズメント	5,500	500	6,000	700	施設案内/チケット案内等
公共施設	7,000	800	8,500	1,000	各種広告/施設案内等
オフィスビル	40,000	1,000	45,000	2,000	会社案内/商品案内等
教育機関	5,000	900	5,200	1,000	講義案内等
医療機関	4,000	700	4,500	800	病院/医師紹介等
その他	14,500	1,100	18,350	1,800	—
合計	132,500	10,000	157,050	15,000	—

* その他：ホテル/結婚式場、官公庁自治体施設、警察/消防等

◆今後の有望需要先

	2010年以降の方向性	
	期待度：新規需要	トレンド
店舗/商業施設	◎	インスタメディア(広告)及び販促等各種情報表示目的に新規設置増加が予測される。大手スーパー/コンビニの動向に注目。
外食産業	○	営業案内/商品案内といった販促用中心の導入。
交通機関	◎	駅構内/車両内への普及。映像広告としてのビジネスモデル増加。
金融機関	△	新規需要が減少し、買い替え主体の推移。
アミューズメント	○	徐々に新規設置が減少し買い替え需要増加。シネコン/パチンコ等が先行事例。
公共施設	◎	美術館/博物館/競技場等のインフォメーション用中心に新規設置増加。
オフィスビル	△	エントランスにおける会社案内やニュース/天気予報等。大型インテリジエントビルへの設置が主。
教育機関	△	大学の講義案内がメイン。小中高校のニーズは現状低い。
医療機関	○	総合病院中心に新規設置増加傾向。
その他	—	街路灯や警察/消防等、映像機器を活用した情報表示用の潜在需要は大きい。

* 期待度 高い：◎ ←→ 低い：×

5. ディスプレイの方向性

	2010年以降の方向性		
	期待度:新規需要	製品トレンド	方向性
モニター (LCD/PDP)	◎	・ 大型化/3D/防塵構造/ インタラクティブ機能等	サイズ用ディスプレイの中心。設置場所のスペースによるが、現在の40～50インチから、50インチ以上が増加傾向。
TV	◎	・ 大型化/3D/低価格化 等	モニター同様、サイズ用ディスプレイの中心。設置場所/導入費用に応じ、専用モニターと比較検討。
フロントプロ ジェクター	△	・ 4,000ルーメン以上の製品 中心に導入。防塵構造モ デルの増加	モニターとは画面サイズで差別化されるが、輝度の点で施設構内の設置に劣る。目的に応じモニターと棲み分け。
リアプロジェ クター	△	・ 4面一体型や6面/9面 等多視点としての設 置。	直視型モニターの大画面化/低価格化に伴い新規需要減少。マルチビジョンとして1部需要先で差別化。
LED	○	・ 屋外設置として一定 需要を確保。 ・ より細かいピッチ/近距 離視認	近距離視認が可能になったことで、ビルボードの他、屋外ポスター/看板からの代替も期待される。低価格化が最大の課題。

* 期待度 高い: ◎ ⇔ 低い: ×

6. デジタルサイネージ市場の方向性

単位：百万円

	2010年 予測		2015年 予測		市場予測
	全体市場	ネットワークシステム	全体市場	ネットワークシステム	
ディスプレイ市場	42,000	11,100	47,000	15,000	2015年サイネージ市場 全体市場規模 約1420億円 ネットワークシステム対象 約1,000億円
メディアプレーヤー市場	1,400	1,400	2,000	2,000	
コンテンツ制作/ 配信市場	7,500	7,500	18,000	18,000	店舗/商業施設、交通機関を中心とした新規設置増加により市場拡大。
広告市場	21,000	12,000	75,000	65,000	広告市場 2015年約750億円（現在の屋外広告費：交通広告費/屋外広告費 約6,200億円の12%程の比率）
国内市場 (2010年比)	71,900 (—)	32,000 (—)	142,000 (197.5)	100,000 (103.0)	

*ディスプレイ市場には設置工事費等を含む。ネットワークシステム：LED及び鉄道車両除く。

有難うございました

参考資料「デジタルサイネージ市場総調査」：富士キメラ総研発行
(データの詳細につきましては下記へ連絡頂けましたら対応致します)

2010. 5. 11

富士キメラ総研

稲葉 視朗

E-mail: sinaba@fcr.co.jp

TEL: 03-3664-5818